

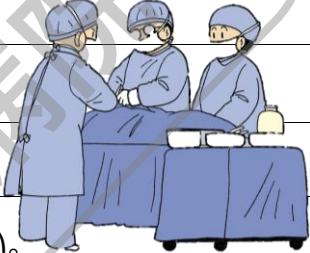
双孔式人工肛門閉鎖術（水、金曜手術）患者さんパスシート（No.1）

氏名		診療科	消化器外科
		入院予定期間	月 日 から 月 日 まで

月日	/	/
入院日数	入院日（手術2日前）	2日目（手術前日）
達成目標	・病状や手術、入院生活について理解しましょう。 ・手術に必要な物品の準備をしましょう。 ・転倒予防について理解しましょう。 	
治療	・特にありません。	
薬	・お薬を内服している方は持参薬をお預かりし、継続して内服するか確認します。	・指示通りに内服を継続します。
検査	・特にありません。	・午後に麻酔科と口腔科の診察があります。 ・手術前の正確な体重を測定します。朝食前に測定してください。
処置	・特にありません。	・お腹周りの不要な毛を処理します。
活動	・制限はありません。	
食事	・低残渣常食（消化の良い食事）が出ます。病院食以外は食べないでください。	・流動食がです。 ・病院食以外は食べないでください。 ・夜 9 時以降は食事をとることができません。 ・手術が 9 時に執刀開始の場合は、手術当日の朝 6 時までには水分を摂ることができます。 ・手術の時間が決定していない場合は、手術開始予定時間の 3 時間前までは水分を摂ることができます。時間については看護師が説明します。
清潔	・シャワーを浴びることができます。	
説明指導	・術後は便意を我慢することが困難になる場合があります。尿取りパッドや軟便安心パッド等を事前に準備しておくで安心です。 ・看護師から、手術前後の処置や経過、手術に必要な物品、転倒予防などについて説明します。 手術の必要物品 浴衣(1枚)、腹帯(1枚)、 T字帯(1枚)、バスタオル(1枚) 	

双孔式人工肛門閉鎖術（水、金曜手術）患者さんパスシート（No.2）

月日	/
入院日数	入院3日目（手術当日術前）
達成目標	・ 術前処置を受け、手術室に入る準備をしましょう。
治療	・ 血栓予防のため、弾性ストッキングを着用します。
薬	・ 医師の指示で内服薬がある場合は、起床後少量の水で内服します。
検査	・ 手術室に向かう前に、体温、脈拍、血圧を測ります。
処置	・ 特にありません。
観察	・ 特にありません。
排泄	・ 手術室に向かう10分前までにトイレは済ませてください。
活動	・ 特に制限はありませんが、病室を離れる場合には看護師に声をかけ、所在がわかるようにしてください。
食事	・ 食事はできません。 ・ 手術が9時に執刀開始の場合は、手術当日の朝6時までは水分を摂ることができます。 ・ 手術の時間が9時以降の場合は、手術開始予定時間の3時間前までは水分を摂ることができます。時間については看護師が説明します。
清潔	・ 起床後、洗面、歯磨き、髭剃りを行いましょう。
説明指導	・ 手術室に向かう前までに浴衣に着替え、弾性ストッキングを着用してください。 ・ 手術室に向かう際には、以下のものは外してください。 （入れ歯、湿布類、コンタクトレンズ、指輪、ピアスなどの貴金属類、腕時計など。） ・ 眼鏡は手術室までかけて行くことができます。 ・ 貴重品類は指定の場所に施錠し管理してください。

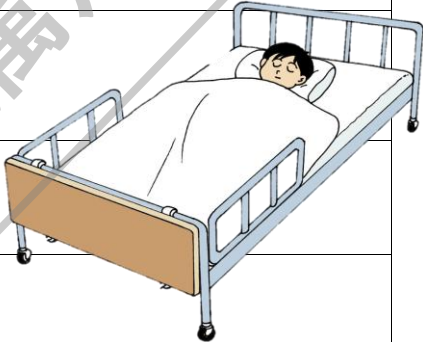


このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

双孔式人工肛門閉鎖術（水、金曜手術）患者さんパスシート（No.3）

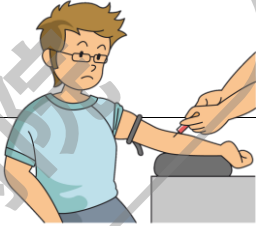
月日	／
入院日数	入院3日目（手術後）
達成目標	・身体之苦痛がある時には我慢せずに看護師に伝えましょう。 ・麻酔から覚めたらベッドの上で足を動かしましょう。 ・床ずれ予防のため定期的に体の向きを変えましょう。
治療	・弾性ストッキングに加え、血栓予防の機械を足に装着します。
薬	・24 時間点滴をします。 ・痛み止めは背中に入っている管から注入されています。 ・背中に管が入っていない場合は、点滴の痛み止めを使用します。
検査	・特にありません。
処置	・尿道、背中に管が挿入されています。 ・翌日の朝9時まで、酸素吸入をします。
観察	・1 時間ごとに、体温、脈拍、血圧を測ります。 ・手術の傷の状態や痛みがないか観察していきます。
排泄	・尿の管は、入れたままで過ごします。 ・違和感や痛みがある場合は、お知らせください。
活動	・手術後はベッド上安静になりますが、膝の曲げ伸ばし、足首の屈伸は行っていきます。 ・体の向きを変えることができます。看護師がお手伝いします。
食事	・食べたり、飲んだりすることはできません。
清潔	・口の中が乾いたときは、うがいをすることができます。
説明指導	・痛みが強い、吐き気がする、眠れないなどの苦痛があればナースコールで遠慮なく伝えてください。 ・手術後は、麻酔や痛み止めの影響で思うように体が動かせなかったり、点滴や背中の管が誤って抜ける可能性があるため、体の向きを変える際は、ナースコールで伝えてください。



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

双孔式人工肛門閉鎖術（水、金曜手術）患者さんパスシート（No.4）

月日	／
入院日数	4日目（術後1日目）
達成目標	・痛みは我慢せず、看護師に伝えましょう。 ・看護師の介助のもと、病室内や廊下を歩きましょう。
治療	・歩行ができたら血栓予防の機械をはずし、弾性ストッキングを脱ぎます。
薬	・24 時間点滴をします。 ・痛み止めは背中に入っている管から注入されています。 ・手術前より内服していたお薬は、朝から再開します。 
検査	・朝、採血があります。 ・午前中にレントゲンの撮影を行います。 ・歩いたときに、体重を測ります。
処置	・朝 9 時に酸素吸入を終了します。
観察	・手術の傷の状態や痛みがないか観察していきます。
排泄	・尿の管は入れたままで過ごします。 ・違和感や痛みがある場合は、お知らせ下さい。
活動	・看護師の介助のもと、歩く練習を行います。
食事	・看護師が朝、腸の動きを確認した後よりお水を飲むことができます。
清潔	・看護師の介助のもと、洗面や身体拭き、着替えなどを行います。
説明指導	・管が抜けないようにしましょう。 ① ベッドの柵に管が引っかからないように気をつけましょう。 ② 衣類の着脱時などに管が引っ張られないように気をつけましょう。 ・腹痛や吐き気、お腹が張るなど気になる症状があれば、看護師にお伝えください。 ・傷の痛みが強い時は、遠慮なく看護師にお伝えください。 

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

双孔式人工肛門閉鎖術（水、金曜手術）患者さんパスシート（No.5）

月日	／
入院日数	5日目（術後2日目）
達成目標	・活動の範囲を広げていきましょう。 ・お腹が張ったり腹痛や吐き気があれば、すぐに看護師に伝えましょう。 ・術後の排便障害について理解しましょう。
治療	・毎回トイレまで歩くことができれば、弾性ストッキングを脱ぎます。
薬	・指示通りに内服しましょう。
検査	・朝食前に体重を測ります。
処置	・医師の診察後、背中に入っている管を抜きます。
観察	・手術の傷の状態や痛みがないか観察していきます。
排泄	・背中に入っている管を抜いた後に、尿の管を抜きます。 ・一日の尿量を測定するため、尿をカップにとって溜めてください。
活動	・特に制限はありません。無理せずに歩行しましょう。
食事	・流動食が始まります。 ・病院食以外は食べないでください。
清潔	・看護師の介助の元洗面や身体拭き、着替えなどを行います。
説明指導	・腸の動きをよくするためには歩行が大切です。 ・少しずつ活動範囲を広げていきましょう。 ・傷の痛みが強い時は、遠慮なく看護師にお伝えください。 ・術後は便意を我慢することができず、便失禁する場合があります。 ・尿取りパッドや軟便安心パッド等を使用すると良いでしょう。 ・また、排便も頻回になるため肛門周囲がただれることがあります。 ・そのため、①トイレットペーパー等の硬い紙で強くこするのは止めましょう。 ・②1日1回ウォシュレットでお尻を洗いましょう。 ・悪化するようであれば、看護師へご相談ください。



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

双孔式人工肛門閉鎖術（水、金曜手術）患者さんパスシート（No.6）

月日	／	
入院日数	6日目（術後3日目）	7日目（術後4日目）
達成目標	- 活動の範囲を広げていきましょう。 - 術後の排便障害について理解しましょう。	
治療	特にありません。	
薬	- 指示通りに内服してください。 - 今日で点滴が終了です。	指示通りに内服してください。 
検査	- 朝食前に体重を測ります。 - 採血、レントゲンがあります。	朝食前に体重を測ります。
処置	医師の診察後、ガーゼを外します。	特にありません。
観察	手術の傷の状態や痛みがないか観察していきます。	
排泄	一日の尿量を測定するため、尿をカップにとって溜めてください。	尿量測定は本日で終了です。
活動	特に制限はありません。無理せずに歩行しましょう。	
食事	- 流動食がです。 - 病院食以外は食べないでください。	- 消化器術後食(五分粥)が出ます。 - 病院食以外は食べないでください。
清潔	シャワーを浴びることができます。	
説明指導	- 食事はよく噛んで食べましょう。腹痛や吐き気、お腹が張るなど気になる症状があれば、看護師にお伝えください。 - シャワーの時は、傷は強くこすらず指の腹で優しく洗ってください。傷口は完全には塞がっていないため、浸出液が出てくる場合があります。ガーゼで傷口を保護しますので、シャワー浴後は看護師へお知らせください。 - 肛門周囲がただれることがあります。 ①トイレットペーパー等の硬い紙で強くこするのは止めましょう。 ②1日1回ウォシュレットでお尻を洗いましょう。悪化するようであれば、看護師へご相談ください。  	

双孔式人工肛門閉鎖術（水、金曜手術）患者さんパスシート（No.7）

月日	／		／	
入院日数	8日目（術後5日目）		9日目（術後6日目）	
達成目標	・退院後の生活をイメージしましょう。 ・退院後の生活について不明な点や不安があれば質問しましょう。 ・退院後気をつけるべき症状を理解しましょう。			
治療	・特にありません。			
薬	・指示通りに内服してください。			
検査	・採血、レントゲンがあります。			
処置	・傷の状態により必要に応じて処置を行います。			
観察	・手術の傷の状態や痛みがないか観察していきます。			
排泄	・一日の尿と便の回数を看護師へお知らせください。			
活動	・特に制限はありません。無理せず歩行しましょう。			
食事	・消化器術後食(米飯)がでます。 ・希望があればお粥に変更できます。 ・病院食以外は食べないでください。			
清潔	・シャワーを浴びることができます。			
説明指導	・シャワーの時は、傷は強くこすらず指の腹で優しく洗ってください。傷口は完全には塞がっていないため、浸出液が出てくる場合があります。ガーゼで傷口を保護しますので、シャワー浴後は看護師へお知らせください。 ・肛門周囲がただれることがあります。 ①トイレットペーパー等の硬い紙で強くこするのはやめましょう。 ②1日1回ウォシュレットでお尻を洗いましょう。悪化するようであれば、看護師へご相談ください。 ・日常生活に関する注意点、心配や不安なことがある場合は、遠慮なく看護師にお尋ねください。			



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

双孔式人工肛門閉鎖術（水、金曜手術）患者さんパスシート（No.8）

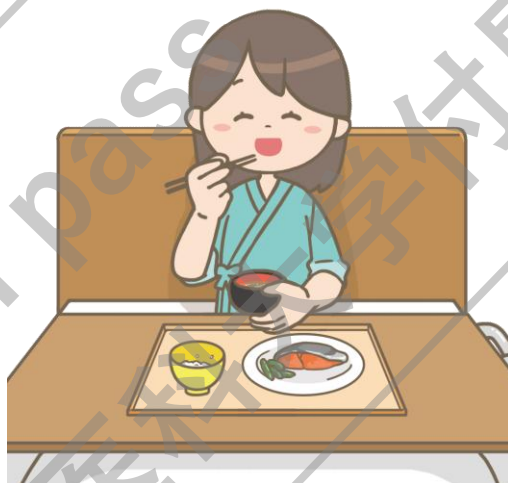
月日	／
入院日数	10日目（術後7日目）
達成目標	- 退院後の生活をイメージしましょう。 - 退院後気を付けるべき症状を理解しましょう。
治療	特にありません。
薬	必要に応じて、退院処方をお渡しします。
検査	朝食前に体重を測ります。
処置	特にありません。
観察	退院前に傷の状態を最終確認します。
活動	特に制限はありません。
食事	- 消化器術後食(米飯)がです。 - 病院食以外のものを食べたい時は医師や看護師に確認してください。
清潔	シャワーを浴びることができます。
説明指導	- 傷口はまだ完全には塞がっていないため、浸出液が出てくることがあります。薬局等でガーゼや紙テープが購入できますので、汚れた時はガーゼを交換し清潔を保つようにしましょう。 - 退院後も便失禁が続いたり肛門のただれが悪化することがあれば、次回外来受診時に外来主治医または皮膚排泄ケア認定看護師へご相談ください。 - 退院後の外来診察日について説明します。 - 日常生活に関する注意点、心配や不安なことがある場合は、遠慮なく看護師にお尋ねください。 - 退院時に忘れ物がないよう、荷物を整理しておきましょう。 - 保険などの書類は、退院日に本館1階の中央受付Aブロックに提出してください。（ただし、日曜・祝日は受付できません。）



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

大腸の手術を受けられた方へ
～快適な日常生活のために～



日本医科大学付属病院

<はじめに>

退院後快適な日常生活を送っていただくために、気を付けて頂きたいことをまとめましたので参考にしてください。
分からない点は遠慮なく質問してください。

1, 食事

大腸の手術により次のような症状が出現しやすい状態です。

①大腸の機能が低下するために、下痢や軟便、便秘、頻便になりやすくなりますが、退院後の食生活では、原則として食事に制限はありません。何を食べても構わないのですが、手術後間もない間は腸運動は十分に回復していないこともあり、食物繊維の多い食べ物や消化しにくいものは避けるようにし、規則正しい食事を心がける必要があります。

(1) 一度にたくさん食べ過ぎないようにしましょう。

(2) ゆっくりよくかんで食べましょう。

(3) 規則正しく食事をするようにしましょう。

(4) バランスよく消化に良いものを食べましょう。

〈消化に良いもの〉

お粥・うどん・豆腐・ホットケーキ・赤み肉（豚肉・牛肉）ささみ・ひき肉・煮魚・大根・にんじん・里芋・小松菜・牛乳・プリン・ゼリー・みかん・イチゴ・りんご・缶詰のくだもの

〈消化しにくいもの・食物繊維の多いもの〉

わかめ・昆布・海藻類・こんにゃく・きのこ・ごぼう・セロリ・とうもろこし・たけのこ・れんこん・山菜・ベーコン・ハム・イカ・たこ・豆類・イモ類・貝類・玄米・穀物・天ぷら・フライ

大切なことは「おいしく・ゆっくり・楽しく」食べることです。よく噛んでバランスの良い食事を心がけましょう。

(5) アルコールはほどほどにしましょう。

特に支障はありませんが飲み過ぎには気を付けるようにし

ましょう。

2. 便通について

大腸の手術後は便の色・形・硬さなどの性状の観察をするようにしましょう。

- ・結腸の手術をされた方は、術後早期を除いて排便機能への影響はほとんどありません。
- ・直腸の手術をされた方は、残る直腸の長さにもよりますが、直腸は便をためる場所なので、排便への影響が残ります。下痢便・頻便・便意頻回・便失禁・便秘などの排便機能障害が発生することがあります。

(1) 便秘の時

- ①水分を多くとって便を柔らかくしましょう。
- ②食事の時間は規則正しくしましょう。
- ③適度な運動をしましょう。

これらのことをしても便秘が続くときは下剤が必要になることがあります。医師に相談しましょう。

(2) 下痢の時

- ①消化の良い食品をとりましょう。

②水分をこまめに取りましょう。

(3) おなかの張りがあるとき

1回の食事量を少なめにし、それでもおなかの張りが続き、排ガス排便はない場合は早期に外来受診をしましょう。

3. 活動

身の回りのことから始め、徐々に活動範囲を広げていくようにしましょう。社会復帰が可能となる時期は個々の状況によって対応すべきです。一つの目安としては、退院後の仕事内容が主にデスクワークであれば術後1か月程度で、腹筋をよく使う運動や仕事であれば、術後2～3か月程度を目安に社会復帰が可能と考えます。

4. 気を付けるべき症状～こんな時は早めに受診を～

- ・ガス・排便が出ない
- ・吐き気・嘔吐

上記の症状が出たら早めに外来受診をしましょう。

5. 外来受診

()さんの次回外来受診日は

月 日 時

日本医科大学付属病院(代表) 03-3822-2131

内線 6509

メモ

--